

## 論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 648 号	氏名	安永 智彦
学位審査委員	主 査	大園 恵幸	
	副 査	江石 清行	
	副 査	蒔田 直昌	
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価 本研究は、冠動脈疾患の進展に関わる血管内皮機能障害の予測因子としての血漿ペントラキシン 3 (PTX3) の有用性を、高感度 CRP (hsCRP) との比較において明らかにしようとしたもので目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価 臨床的に安定した冠動脈疾患患者 36 例に対し、血管内皮機能として血流依存性血管拡張反応 (FMD) を 2 回測定し、PTX3、hsCRP、血糖脂質マーカーおよび腎機能との関連性を多変量解析などにより統計学的に検討したもので、研究手法も妥当である。</p>			
<p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、PTX3 は、hsCRP に比し FMD との強い負の相関を認め、FMD 悪化群において有意に PTX3 が上昇することが認められた。さらに多変量解析では PTX3 が FMD の独立した予測因子であることが示唆された。これらの結果より PTX3 は、hsCRP より血管内皮機能をより鋭敏に予測し得る可能性を明らかにし、今後の冠動脈硬化予測因子の臨床研究への進展が大いに期待される。</p>			
<p>以上のように本論文は、循環器病学研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士 (医学) の学位に値するものと判断した。</p>			